

16. 電子カルテサーバー停止時の紙伝票の検討

那須赤十字病院 ○磯 裕樹

【背景・目的】

当院では2012年7月の移転時にオーダーリングシステムから電子カルテシステムに移行したが、放射線科システム障害マニュアルは以前のまま運用していた。システム障害マニュアルの紙伝票による運用が未経験な技師が半数を占めてきていることもあり、画像サーバー障害時も含め、旧マニュアルでの問題を洗い出し、新しいシステム障害マニュアルを作成した。

【方法】

新しいシステム障害マニュアルに移行すべく旧マニュアルでの問題を洗い出し、基本となる部分を作成した。実際の院内サーバーシステム障害時を想定し検討した。

【考察】

画像サーバーシステムについて、ベンダが変更されたことにより障害時フローチャートに変更が必要となった。障害時には過去画像の参照ができなくなったので別サーバーで運用されている診断レポートとモダリティのモニタでの参照、従来のフィルム出し対応となる。

電子カルテサーバーシステムについて、オーダーに関しては以前からオーダーリングシステムにより電子化されていたが、旧マニュアルにはオーダーリングシステム導入前の紙伝票による対応が示されていた。しかし現在のシステムに対して必要と思われる項目や見直す項目等があったため、新たに紙伝票を作成することとした。一般撮影、CT、MRのオーダーを主として作成し、頻繁に行われる撮影方法や部位、薬剤はチェック方式にして簡易的に書き込めるようにした。その他の器材等はフリースペースに記入するようにした。また、モダリティから検査ごとに発行される番号を控えることによって復旧後の紐づけに対応できるようにした。オーダー発行時から他部門と一貫して患者情報を管理できるようにしなければならない点は課題として残ってしまった。